

予 算 要 求 資 料

令和 3 年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：畜産業費 目：畜産振興費

事業名 牧場管理委託料

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部畜産振興課 酪農・飼料係 電話番号：058-272-1111 (内 2875)

E-mail: c11437@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 8,577 千円 (前年度予算額：6,719 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	6,719	0	0	2,702	0	0	1,717	0	2,300
要求額	8,577	0	0	2,398	0	0	1,635	0	4,544
決定額	8,577	0	0	2,398	0	0	1,635	0	4,544

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

家畜資源の確保及び畜産経営の合理化を図るために、昭和 48 年に岐阜県家畜育成牧場(東濃牧場・飛騨牧場)を設置し、管理を(社)岐阜県畜産開発公社(現(一社)岐阜県農畜産公社(以下「公社」という。))に委託してきた。

地方自治法の改正にともない、指定管理者制度が導入され、平成 18 年 4 月からは、同公社を指定管理者として特定者指名しており、引き続き、令和 3 年 4 月～令和 8 年 3 月(第 4 期)の指定管理者として特定者指名したところ。

牧場運営は、乳用牛育成という採算性の乏しい業務に加え、肉用牛繁殖・育成においても、飼料価格の高止まりによる生産コストの負担増、景気低迷による畜産物の消費減退といった内外の不安定要因を抱えている状況にある。

(2) 事業内容

岐阜県家畜育成牧場で実施している指定管理業務である、放牧預託事業にかかるに経費の一部を委託料として、公社に支払う。

放牧預託事業の主な業務内容は、放牧預託の手続(受付け・契約他)、放牧監視(毎日放牧場を巡視し、牛の安全を確認する)、補助飼料(濃厚飼料)給与、放牧病の予防対策(薬剤塗布・投与)、草地・牧柵・水飲み場などの放牧

施設の維持管理等であり、公社は、預託料金として 330 円/日・頭を徴収し、うち 55 円を牧場使用料として県に収める。

(3) 県負担・補助率の考え方

県負担 10 / 10

指定管理者と締結した年度協定書に基づく指定管理料を負担する。

(4) 類似事業の有無 : 無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	8,577	指定管理料
合計	8,577	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県東濃牧場及び岐阜県飛騨牧場の管理に関する基本協定書（抜粋）
（指定管理料の支払）

第 24 条 甲は乙に対し指定管理料を支払う。

2 指定管理料の額、支払方法等の詳細については、年度協定において定めるものとする。

(2) 事業主体及びその妥当性

（一社）岐阜県農畜産公社は、岐阜県家畜育成牧場（東濃牧場・飛騨牧場）の指定管理者である。（令和 3 年 4 月～令和 8 年 3 月（第 4 期））

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

令和3年4月から令和8年3月まで、家畜育成牧場の管理を（一社）岐阜県農畜産公社に指定管理委託する。当該期間、適正に家畜育成牧場の管理をしてもらう。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(R)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(R)	%

○指標を設定することができない場合の理由

適正に家畜育成牧場の管理を行うことが目的であるため、指標をもって成果を評価することが困難であるため。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価) ○	牧場の管理運営していく経費として必要なものである。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	概ね適切な管理運営が行われている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価) -	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 県営家畜育成牧場は、県内の畜産農家の不採算部門を担うことで農家貢献していることから、引き続き牧場運営をしていく必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 指定管理により牧場の管理委託を行う間は、継続していく必要がある。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	【○○課】